

沖縄県栽培漁業センターの概要

1. 沿革

- (1) 昭和55年～58年度 用地取得及び基本整備事業
- (2) 昭和58年4月 沖縄県水産試験場の支場として設置される（沖縄県行政組織規則第208条。昭和58年3月31日改正。組織の名称：沖縄県水産試験場支場栽培漁業センター）。
- (3) 昭和58年10月25日 開所式
- (4) 昭和59年度・昭和61年度・昭和62年度 増強施設整備事業（水槽上屋・加温施設・濾過施設等の整備）
- (5) 昭和63年4月 水産試験場支場の位置づけから独立。組織の名称：沖縄県栽培漁業センターとなる（沖縄県行政組織規則208条の2。昭和63年3月31日改正）。

2. 組織

沖縄県農林水産部 ― 水産振興課 ― 栽培漁業センター

3. 庁舎の所在地

住 所：〒905-02 沖縄県国頭郡本部町字大浜853-1
電 話 番 号：(0980) 47-5411 F A X 番 号：(0980) 47-5412
最寄バス停：本部半島線（名護バスターミナル発）大小堀バス停下車徒歩3分

4. 運営法式

県 営

5. 職員及び主な担当業務

所 長 新 垣 盛 敬（総括）
主任研究員 渡 辺 利 明（甲殻類種苗生産、飼付け型栽培漁場管理技術開発、タイワングザミ放流技術開発）
主任研究員 多 和 田 真 周（魚類種苗生産、ハマフエフキ放流技術開発）
主任研究員 勝 俣 亜 生（餌料生物培養、魚類種苗生産）
主任研究員 与 那 嶺 盛 次（棘皮類種苗生産、餌料生物培養）
主任研究員 大 城 信 弘（貝類種苗生産、棘皮類種苗生産）
研 究 員 木 村 基 文（飼付け型栽培漁場管理技術開発、甲殻類種苗生産）
技術補佐員 仲 村 伸 次（魚類種苗生産）
副 主 査 備 瀬 澄 子（庶務、会計）

※転入：大 城 信 弘（水産試験場八重山支場）、勝 俣 亜 生（水産試験場）

転出：村 越 正 慶（水産試験場）、玉 城 信（水産試験場八重山支場）

※仲 村 伸 次（新採用）

6. 受け入れ研修生名簿

氏名	国名	期間	研修内容
近藤 勝一郎	日本	平成5年6月5日 ↓ 平成5年7月31日	シャコガイ タカセガイ の養殖技術

7. 種苗生産実績

(1) 対象魚種：ハマフエキ・オーストラリアキチヌ・マダイ・シマアジ・タイワンガザミ・シラヒゲウニ・タカセガイ・ヤコウガイ

(2) 魚種別、年次別種苗生産実績

魚種別	年次	平成5年度	備考
ハマフエキ		693 (20.8~24.2)	上段：千尾 下段：ミリ()内 -：実施せず +：少数生産 0：生産出来ず
オーストラリアキチヌ		0	
マダイ		1,034 (22.5~35.6)	
シマアジ		-	
タイワンガザミ		156 (3~5)	
シラヒゲウニ		180 (3.9)	
タカセガイ		(516) (3.3)	
ヤコウガイ		-	

(3) 種苗販売実績

平成5年度			
マダイ	ハマフエキ		
5円/尾	8円/尾	595,000尾	207,000尾
		2,975,000円	1,656,000円
合計金額		4,631,000円	

8. 予算(令達)

単位：千円

区分	年度	平成5年度	備考
運営費		2,645	
生産事業費		49,340	
栽培漁業技術開発事業費		10,118 (4,068)	(事業名) 放流技術開発
		(6,050)	飼付け型栽培技術開発
沿岸漁業整備事業等調査費		4,991	
合計		67,094	

9. 施設の概要

(1) 敷地等

	基本施設	増強施設	その他	備考
敷地面積	11,067㎡	78.15㎡		県有地
使用海面	0㎡		5,200㎡	生簀40面

(2) 建設事業費

単位：千円

	基本施設整備	増強施設整備	その他	備考
敷地取得費	169,000	0	0	
設備整備費	456,225	150,000	893,109	
環境整備費	0	0	0	
合計	625,225	150,000	893,109	
(国庫補助金)	(243,750)	(75,000)		

(3) 建物

施設名	規模・構造	面積 (㎡)	備考	施設番号
管理棟	鉄筋コンクリート 2階建	396		①
採苗棟	“ 平屋建	252.4		②
調餌工作棟	“ “	194.8	上屋貯水タンク	③
機械棟	“ “	84		④
ポンプ棟	“ “	36		⑤
車庫	“ “	60		⑥
飼育棟	鉄筋スレート、コンクリート水槽	774	加温装置付水槽	⑦
濾過棟	FRP 自動逆洗式	6.72	42 t / h・2基	⑧
貝類採苗施設(1)	軽量鉄骨ビニールハウス 平屋建	225		⑨
貝類採苗施設(2)	“ “	225		⑩
網倉庫	鉄筋コンクリート “	78.15	平成5年度増設	⑪

(4) 池・水槽

① 容量総括表

飼育水槽 (㎡)					餌料培養水槽 (㎡)			合計
魚類	甲殻類	貝類	ウニ類	計	動物性	植物性	計	
400	258	82.5	128	868.5	450	690	1,140	2,008.5

② 用途別

用途区分	規格・使用容量 (㎡)			数量(面)	備考	施設番号
親魚水槽	RC	φ 4.0m×2.5m	30	5	魚類	⑫
	FRP	5.0m×1.2m×0.85m	4	2	甲殻類	⑦
飼育水槽	RC	4.0m×7.0m×2.0m	50	5	魚類	⑬
	RC	φ 7.0m×1.3m	50	2	“	⑦
	RC	φ 10.0m×1.3m	100	2	甲殻類	⑦
	RC	φ 7.0m×1.3m	50	1	“	⑦
	FRP	5.0m×1.0m×0.55m	2.75	30	貝類	⑨⑩
	RC	8.0m×1.0m×1.0m	8	3	ウニ類	⑭
	FRP	5.0m×1.5m×0.9m	6	4	“	⑮
	FRP	5.0m×1.2m×0.85m	4	20	“	⑯
餌料培養水槽	RC	4.0m×7.0m×2.0m	50	5	動物性	⑰
	RC	4.0m×2.0m×1.5m	10	5	“	⑱
	RC	φ 7.0m×1.3m	50	1	“	⑦
	RC	10.0m×7.0m×2.0m	100	6	植物性	⑲
	キャンパス	φ 10.0m×1.0m	70	1	“	⑳
	キャンパス	4.0m×5.0m×1.0m	20	1	“	㉑

5) 機械・設備

機 械 ・ 設 備	型 式 ・ 能 力	数 量	備 考	施設番号
ポ ン プ	渦巻ポンプ 11KW 2.24m ³ /分 (全揚程20.8m)	3		
ブ ロ ワ ー	アンレットルーツブロワー ① 11KW, 6.0m ³ /分, 0.6kg/cm ² ② 3KW, 1.15m ³ /分, 0.6kg/cm ²	4 (3) (1)		
ジ ェ ッ ト ・ ウ オ ッ シ ャ ー	11KW, 60.0kg/cm ² , 0.6ℓ/分	1		
発 電 機	100KVA	1		
冷 凍 ・ 冷 蔵 庫	冷凍 7.5KW (-35℃) 26m ³ 冷蔵 2.2KW (-10℃) 19m ³	1 1		
ボ イ ラ ー	400,000kcal/h, 7.5KWポンプ 2基	1		②②
自 動 給 餌 機	0.045KW, 6ℓ/tank	14		
自 動 底 掃 除 機	0.4KW, 最大排水量 50ℓ/分	2		
自 動 洗 網 機	13KW, 10m角/60分 120ℓ/分	1		②③
ワ ム シ 収 穫 機	100V-0.2KW	2		

(6) その他の設備

名 称	規 格 等	数 量	備 考	施設番号
作 業 船	FRP 1.10トン 50馬力	1	小割型簀 40面は平成5年度 増設。 センター 地先中間 育成場	
”	FRP 0.30トン 9馬力	1		
フ ォ ー ク リ フ ト	2トン ディーゼル	1		
作 業 車	貨物車 2トン ディーゼル	1		
”	貨物乗用車 1,800cc ガソリン	1		
小 割 生 簀	5m×5m	40		②④
沈 澱 池	素掘り石積み 375m ²	1		②⑤
取 水 管	ヒューム管 φ1.0m×93m	1		②⑥
棧 橋	鉄筋コンクリート 斜路41m×長さ49m	1		②⑦
貨 客 兼 用 自 動 車	1,800cc ガソリン	1		

(7) その他関連事項

① 海水揚水量

日間揚水量 5,000 m³/日 (盛期)

日間揚水量 9,700 m³/日 (最大能力) 但し、全期を24時間連続運転の場合の数値

② 契約電力

契約容量 72KW/H

契約種別 業務用

(8) 施設の配置図

次頁に示した。

